

(様式2) 本計画書は情報公開法による開示の対象です。計画の審査に必要な情報で、真に開示できない部分については、本様式では伏せ字とし、別紙様式4により開示できない理由・期間とともに記入の上、本計画書に添付して下さい。

## 動物実験計画書

金沢大学長 殿

令和	年	月	日提出	※再提出時は日付を更新すること	委員会 記入欄	月	日受付	第	号
実験責任者	氏名				職名				
					※実験責任者は、教員または常勤職員とすること				
所属部局					研究室名				
計画区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 修正 承認番号 AP-				<input type="checkbox"/> 動物種		<small>※修正区分は承認番号を記入する</small>		
実験期間	年	実験実施者人数			名	不開示情報 計画書の提出	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
実験課題									
実験目的	<small>※研究の背景・意義、予想される成果等を明確に記載</small>								
代替法検討結果	<input type="checkbox"/> 検討したが代替手段が見つからなかった。 <input type="checkbox"/> 代替手段の精度が不十分であった。 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
動物実験の分類	<input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 試験・検定 <input type="checkbox"/> 教育・学生実習				<small>※この分類が実験か試験・検定/教育・学生実習かで、継続確認書の様式が異なる</small>				
計画総匹数	匹	<small>この計画全期間中に実験に供する予定の合計匹数を記載する 自家繁殖用の種動物や実験に使用しない繁殖余剰動物等の匹数は含めない</small>							
動物の系統名									
動物の入手方法									
動物入手時の微生物学的品質	<input type="checkbox"/> SPF <input type="checkbox"/> Clean <input type="checkbox"/> Conventional <input type="checkbox"/> Healthy <input type="checkbox"/> その他 ( )								
動物に投与する薬物と生物材料						生物材料が感染事故の原因となる危険性	<input type="checkbox"/> 無 (検疫済等) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 不詳		
疼痛緩和措置									
安楽死処置法									
人道的エンドポイントの設定									
特殊実験の区分	<input type="checkbox"/> 該当無         遺伝子組換え実験 ( <input type="checkbox"/> P1A, <input type="checkbox"/> P2A, <input type="checkbox"/> P3A ), 感染実験 ( <input type="checkbox"/> ABSL-1, <input type="checkbox"/> ABSL-2 ), <input type="checkbox"/> 放射性同位元素使用, <input type="checkbox"/> 放射線使用 ( X線照射/ X線撮影 ), <input type="checkbox"/> ヒト由来材料使用, <input type="checkbox"/> 麻薬/覚醒剤の使用, <input type="checkbox"/> 有害物質の使用 ( 化学発癌/ 重金属等 ),								
遺伝子組換え実験計画確認番号						<small>※特殊実験の該当項目について、組換え実験関連番号の他、麻薬研究者氏名・番号、医学倫理委員会の申請番号や、別途必要な届出状況等を記載</small>			
その他の特殊実験の手続き状況									
有害物質投与など、危険を伴う実験の安全対策									
痛みのカテゴリ	<input type="checkbox"/> I : ほとんど、あるいはまったく不快感を与えない実験操作 ( 麻酔が不要な操作 ) <input type="checkbox"/> II : 軽微なストレスや痛みを伴う実験、麻酔等により、殆ど苦痛が排除される実験 <input type="checkbox"/> III : 麻酔等の有無に関わらず、中程度～重度のストレスあるいは痛みを伴う実験 <input type="checkbox"/> IV : 麻酔していない意識ある動物に耐えることのできる最大に近い痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような実験、無麻酔下の死をエンドポイントとする実験								

( 枠線位置の変更不可・文字サイズ最小9pt ; この脚注が1頁目に納まること )

※修正区分の計画書では、新規計画書と差し替えるものとなるので、実施済の実験を含めた計画全体を記載して下さい。  
また、修正・追記箇所を文字色を変えるなど、修正前の計画書からの変更点がわかるように記載して下さい。

実験内容（処置内容、実験のエンドポイント、使用材料、実験群設定、匹数算出根拠を具体的に記載すること。）

動物実験計画の適否： 適  不適（不開示申請適否： 適（ 年 月 日迄） 不適）

追加条件等：

審査終了日： 委員会審査番号 第 号

（文字サイズ最小9pt；真にやむを得ず補足説明が必要な場合のみ、次頁使用可；この脚注が2頁目に納まること）